

平成20年(' 08) 2/25

第57号

火事と救急は
局番なし119番



発行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町1丁目21-6

吹田市消防本部内

電話(06)6193-0119(代表)

平成19年度全国統一防火標語

『火は見てる あなたが離れる その時を』



シジクレイ選手による一日消防長

火災のない明るい吹田市を築きましょう

平成20年 年頭のご挨拶



吹田市防火連合会
会長 堀田 稔

平成20年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から本会の事業運営につきまして、格別なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、(財)日本漢字能力検定協会が漢字の奥深い意義を伝授する活動の一環として、毎年末に全国公募により、その年の世相漢字を決定していますが、昨年の漢字は「偽」とされました。

清水寺の森清範貫主が大きく揮毫されている模様をテレビでご覧になった方も多いと思います。

平成19年は、食品偽装に始まり、年金記録や政治活動費、伝統ある土産物や名門の老舗料亭にも「偽」があふれかえった一年でありました。今年こそは「偽」のない、心から安心できる社会になって欲しいものです。

今ほど安心して暮らすことができる社会が望まれている時代はありませんが、経済界におきましては、需要の増大等から緩やかながら景気回復が続いているといわれながら、このところの原油価格の高騰など、まだまだ安心できるものではありません。

災害に目を転じてみましても昨年は宝塚市のカラオケボックス火災や東京都の温泉施設の爆発事故により多数の死傷者が発生いたしました。

本市におきましてもバス横転事故や遊戯施設における事故など多くの死傷者をとまなう事故が発生しております。

そうした中で吹田市は従来から防災だけでなくトータルに安心して暮らせる安全なまちづくりをめざしており、その取り組みの一環として、昨年は「安心安全のまちづくり協議会」を立ち上げられ、本会をはじめ傘下の各防火協会もその趣旨に賛同させていただきました。

本会は、従前から防火・防災面での「安心安全」を築いていくため、市民の皆様や事業所の方々の防火・防災意識のより一層の高揚を図るべく活動を進めてまいりました。

今後も消防本部とのパートナーシップを基本として、会員事業所等の協力を得ながら、防火・防災に関する各種行事に積極的に参加、協力するなど事業内容の充実を図り、地域の防災に役立つための活動を展開していく所存でございます。

最後になりましたが、市民の皆様をはじめ事業所、消防関係者の方々のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



吹田市消防本部
消防長 廣瀬 茂

平成20年(2008年)の輝かしい新年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から本市の消防行政全般にわたり深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと宝塚市のカラオケボックス火災や東京都の温泉施設爆発事故など一昨年の認知症高齢者グループホーム火災に続いて予防行政に少なからず影響を与える災害が発生しました。

また、石川県能登半島や新潟県中越沖における震度6強の地震、台風9号や東北地方の大雨など、地域住民の安全を脅かす自然災害も相次いで発生しており、各地に甚大な被害が出ております。

幸いにも本市におきましては、昨年は大規模な災害は発生しておりませんが、社会的に注目されたスキーバス事故や遊戯施設におけるジェットコースター事故は、大惨事には至らなかったものの、現代社会では何時でもこのような事故が発生する状況にあるということを改めて痛感させられました。

また、東南海・南海地震などの大規模地震の発生が危惧されておりますことなどから、消防に対する市民の期待は近年ますます大きくなってきております。

このような状況の中、高度情報通信化等に代表される急速な技術革新、住民意識の多様化等、消防行政を取り巻く環境は著しく変化し、新たな対応が求められています。

消防本部といたしましては、各種災害事案への対応はもちろんのこと、救急救命士の救命・救急技術の向上や年々増大する救急需要に対応するための体制整備、住宅防火対策としての住宅用火災警報器の設置指導や消防法令違反の是正、地域ぐるみの放火防止活動など積極的に推進し、「安心・安全のまちづくり」の実現に努めて参ります。

本年は、昭和23年3月7日に自治体消防が発足して60周年という節目を迎えますことから、消防に課せられた責務の重要性を再認識し、市民の期待と信頼に応えられるよう全力をあげて広範な消防行政を展開していく所存です。

結びに、本年が皆様にとりまして平穏な一年でありますよう祈念いたしますとともに、今後とも消防行政に変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆吹田市防火連合会交流会◆

平成19年11月2日（金）、吹田市豊津町の新大阪江坂東急インにおいて、吹田市防火連合会傘下の建設業、公衆集合場、工場危険物の各協会と家庭防火クラブ連絡協議会の4団体等から95名が参加して吹田市防火連合会交流会が盛大に開催されました。



掘田会長あいさつ

また、交流会に先立って、NHKテレビ「生活笑百科」でおなじみの弁護士の野間督司氏をお迎えして、「暮らしの中の法律 防火の責任」と題した防火連合会主催の防災講演会が開催されました。



野間督司氏による防災講演会

◆吹田市防火連合会寄贈◆

平成20年1月22日（火）、吹田市消防音楽隊発足20周年記念として吹田市防火連合会から吹田市消防本部へサクソ、トランペット、シンバル等の楽器と録音機材一式等が寄贈され、この寄贈に対して廣瀬消防長から堀田会長へ感謝状が送られました。



廣瀬消防長から感謝状を受け取る堀田会長（左）



寄贈されたサクソ、トランペット等

◆火災予防街頭広報◆

建設業防火協会の堀田 稔会長以下会員17名による火災予防街頭広報が平成19年秋季火災予防運動（11月9日～11月15日）期間中の平成19年11月13日（火）に吹田市朝日町の旭通り商店街周辺で実施されました。



街頭広報を行う建設業防火協会

◆家庭防火クラブ表彰◆

平成20年2月6日（水）、大阪府中央区の大阪府立ドーンセンターで開催された大阪府婦人防火クラブ大会で、吹田市藤白藤栄会家庭防火クラブ会長の竹内揚子さんが家庭防火クラブ会長として長年火災予防活動に貢献した功績で優良婦人防火クラブ員表彰を受けました。



表彰を受けた竹内会長



一日消防長

全国秋季火災予防期間中の平成 19 年 11 月 14 日 (水)に吹田市をホームタウンとするサッカーJ1 リーグガンバ大阪(当時)のディフェンダー、シジクレイ選手を一日消防長に招き、江坂エスコタウン周辺で街頭広報、特別防火査察、初期消火訓練を行いました。



(C) GAMBIA OSAKA

シジクレイ #5
SIDICLEI De Souza
ディフェンダー
1972年5月13日生まれ
ブラジル出身
187cm/86kg

【辞令交付】

まず、吹田市消防本部で廣瀬消防長から一日消防長の辞令を受けました。ちょっと緊張気味のシジクレイ選手です。制服は、大柄なシジクレイ選手のサイズに合わせて製作した特注品です。



ほくもハッピーを着て
お手伝いしました。
敬礼！



【特別防火査察】

吹田市西消防署の予防査察担当と江坂駅前にある物品量販店の特別防火査察を行いました。



【広報用ティッシュ配布】

江坂エスコタウンへ移動し、応援に駆けつけたガンバボーイと広報用のティッシュを配布しました。

ティッシュを配るシジクレイ選手の後に長いファンの列が続きました。



ガンバボーイも応援に駆けつけました。

【初期消火訓練】

詰め掛けたファンも参加して、消火器による初期消火訓練を行いました。

最初にチャレンジしたシジクレイ選手は、みごと消火しました。



ドクターヘリ

Doctor Heli

救急医療用ヘリコプター

平成19年6月27日(水)に「救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法」が公布されたことを受けて、大阪府でも平成20年1月16日(水)から救急医療用ヘリコプター（以下「ドクターヘリ」という。）の運航が開始されました。

この運航に先立ち、平成19年12月12日(水)には、千里万博公園東の広場で吹田市消防本部・池田市消防本部と合同でドクターヘリと救急隊との連携訓練が実施されました。

今後は、大阪府の周辺部等においてもドクターヘリの機動性を生かした医師の早期治療、救命救急センターへの早期搬送が可能となり、大阪府における救命率の向上が期待されます。

【ヘリの概要】

型式：ユーロコプター EC135 型

（全長：12.16m 全幅：10.20m 全高：3.51m）

最大速度：155ノット（時速：約287km）

巡航速度：120ノット（時速：約222km）

最大運用高度：20,000フィート（約6,096m）

最大航続時間：3時間



ドクターヘリ（ユーロコプター EC135 型）

【スタッフ】

操縦士1名、整備士1名の他に医療スタッフとして医師1名、看護師1名が原則として搭乗します。

【運用基準】

ドクターヘリは、救命救急センター（大阪府では大阪大学医学部附属病院）のヘリポートに年間を通じて待機しており、原則として府内全域を対象地域として、消防機関の要請に基づき運航されます。

運航時間は昼間で、有視界飛行が可能な気象条件の範囲ですが、要請を受けても天候状況や運航時間によっては、飛行できないことがあります。

搬送の対象は、緊急に処置しなければ生命に危険が生じる恐れがある場合や、社会復帰に大きな影響がある場合、又は現場での緊急診断に医師を必要とする場合です。

【連携訓練】

平成19年12月12日（水）に実施されたドクターヘリと吹田市消防本部救急隊との連携訓練の様子です。



救急隊から患者引継ぎ



機体後部の患者収容ドアから機内へ患者収容



事業所訪問

DUSKIN® (株)ダスキン大阪中央工場

喜びのタネをまこう

(株)ダスキンは、1963年に創業、翌年には「ホームダスキン」を全国発売。日本で初めて“水を使わないぞうきん”を世に送り出しました。現在、吹田市江坂に本社を置き、掃除用品のレンタル・販売のほか、掃除を中心とした家事代行や害虫駆除予防等の事業を展開しています。また、ミスタードーナツなどのフードサービス事業も手がけています。

南吹田に立地する大阪中央工場は、1996年に近隣の製造拠点と配送拠点が統合され誕生しました。

当工場では、清掃道具のレンタル・再生加工を主業務としております。一昨年の夏には、工場近隣の皆様にお世話になった感謝の意を込めて、「10周年 感謝フェスティバル」を開催し、沢山の方にご来場いただきました。

ダスキンは、環境にやさしい企業として、廃水処理設備を完備。モップやマットを洗浄した廃水は、20%以上をリサイクル水として再活用し、その他はキレイにして下水道への放流をしております。また汚れの塊（スラッジ）は、セメントの原料として、再資源化されています。

1999年にはISO 14001の認証を取得し、また2006年には改善活動の一環であるTPM優秀継続賞第2類を受賞。日々お客様に喜ばれる製品を送り出すよう努めています。



神崎川沿いに立つ大阪中央工場

昨年12月、全国50の生産部事業所が当工場に集結し、「消防対応のワザ」を競い合う大会が催されました。消防にかかわる知識と技術の向上が目的で、①屋内消火栓競技②水消火器競技③情報伝達競技が実施され、当工場は見事総合優勝を果たしました。

当日は吹田市西消防署の皆様にもご協力いただき、救急に関する処置等を体験させていただきました。競技で培った「ワザ」は、「備えあれば・・・」ですが、このワザを当工場内で使用することのないよう、今後も安全第一で防火管理意識の向上に取り組んでいきます。



消防知識と技術の向上を目的として実施された「WAZA選手権」

◆表彰◆

【救急活動】

救命処置

平成 19 年 7 月 28 日（土）に吹田市岸部中 1 丁目で発生した救急事案において心肺停止患者に救急救命処置（心肺蘇生法、除細動）を実施した結果、心拍再開を果たし、社会復帰させた功績。

東消防署 岸部出張所 第 2 警備 救急分隊
消防司令補 細谷泰城
消防士長 満石紀昭
消防士 佐々木淳次

救命処置

平成 19 年 9 月 8 日（土）に吹田市金田町で発生した救急事案において心肺停止患者に救急救命処置（心肺蘇生法、除細動、薬剤投与）を実施し、早期に心拍再開を果たした結果、後遺症もなく、完全社会復帰させた功績。

西消防署 第 2 警備 救急分隊
消防司令補 山口 勇
消防士長 中 浩一
消防士長 大武 瞳

◆平成 19 年秋の叙勲◆

前吹田市消防団長の山本利章氏が消防団長として長年勤務に精励した功績により平成 19 年 11 月 6 日（火）に大阪府知事から瑞宝双光章を伝達されました。

同氏は、11 月 7 日（水）に東京都港区のニッショーホールにおいて行われた総務省消防庁長官からの伝達式にも出席されました。



前吹田市消防団長の山本氏

◆車両寄贈◆

吹田市消防団員として 40 年にわたり活躍され、平成 19 年に退団された前豊津分団副分団長の樋口勝治氏が消防本部に指揮車を寄贈されました。

この車両は大規模災害などの際に指揮車として使われるもので平成 19 年 10 月 4 日（木）に吹田市役所において贈呈式が行われました。



寄贈された指揮車（左端が樋口氏）

◆第 9 回危険業務従事者叙勲◆

元吹田市消防職員の瀬戸 明氏と齋藤茂幸氏が著しく危険性の高い業務に精励した功績により平成 19 年 11 月 8 日（木）に大阪府知事から危険業務従事者叙勲を伝達されました。

齋藤氏は、11 月 14 日（水）に東京都新宿区の日本青年館において行われた総務省消防庁長官からの伝達式にも出席されました。



瀬戸氏（左）と齋藤氏（右）

◆消防団吹三分団詰所竣工◆

平成19年12月23日(日)に吹田市高城町の吹田市消防団吹三分団の新詰所が完成し、翌12月24日(月)から供用が開始されました。



供用を開始した吹三分団詰所

この建物は鉄骨造2階建てで、震災時等の水道断水時にこの地域の消防水利を補完するため、地下には60トンの耐震性防火水槽が設けられました。

吹三分団は、原川分団長以下21名で構成され、消防ポンプ自動車、可搬式小型動力ポンプを有し、高城町、高浜町など吹田市の南部を管轄しています。

◆自衛消防隊員一日体験入校◆

平成19年11月20日(火)、大東市の大阪府立消防学校において吹田市防火連合会主催の自衛消防隊員一日体験入校が行われ、19事業所から36名が参加しました。

参加隊員は、規律訓練、放水訓練、救急実技訓練、安全管理等の基礎的な消防教育訓練を受け、技術の習得及び防火意識の高揚が図られました。



AEDを用いた救急実技訓練(写真上)と放水訓練(写真下)

◆平成20年 吹田市消防出初式◆

吹田市消防出初式が、平成20年1月6日(日)の午前10時から吹田市内本町3丁目神崎川右岸河川敷で、消防職員・消防団員・自衛消防隊・家庭防火クラブ・幼年消防クラブ・自主消火組織及び関係者940名が参加して実施されました。

当日は、昨年の出初式とは打って変わった好天に恵まれ、多くの市民がつめ掛けました。式典では、分列行進や救助訓練のほか、従来の3色から6色に増やされたカラフルな一斉放水に大きな歓声が上がりました。



分列行進



救助訓練



一斉放水

住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

今お住まいの住宅には、平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務化されます。

【設置場所】

- ・住宅の寝室及び階段部分に設置します。
- ・台所についても設置をお勧めしています。

【購入等】

- ・購入される場合は、右のNSマークが付いているものを選びましょう。

【その他の注意点】

- ・不適切な訪問販売にご注意下さい！



お問い合わせ

南消防署 (吹田市内本町 1-23-14) TEL: 6317-0119
 北消防署 (吹田市藤白台 1-1-50) TEL: 6872-0766
 西消防署 (吹田市江坂町 1-21-6) TEL: 6384-0151
 東消防署 (吹田市尺谷 5-15) TEL: 6876-9119

火災のない
明るい吹田市を
築きましょう

